

PARNASSIUS

No. 38

目 次

淡路島での蝶の採集.....	菊 池 宏 美	1
分布域を拡大しつつあるイシガケチョウ.....	登 日 邦 明	6
常隆寺山の昆虫採集記録.....	堀 田 久	7
ベニゴマダラヒトリの採集記録.....	登 日 邦 明	9
ナミアゲハの無尾型.....	登 日 邦 明	10
トゲナナフシの採集記録.....	堀 田 久	10
コムラサキの目撃記録.....	堀 田 久	11
ハネビロエゾトンボの採集記録.....	竹 田 俊 道	11

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

November 1992

淡路島での蝶の採集

菊 池 宏 美

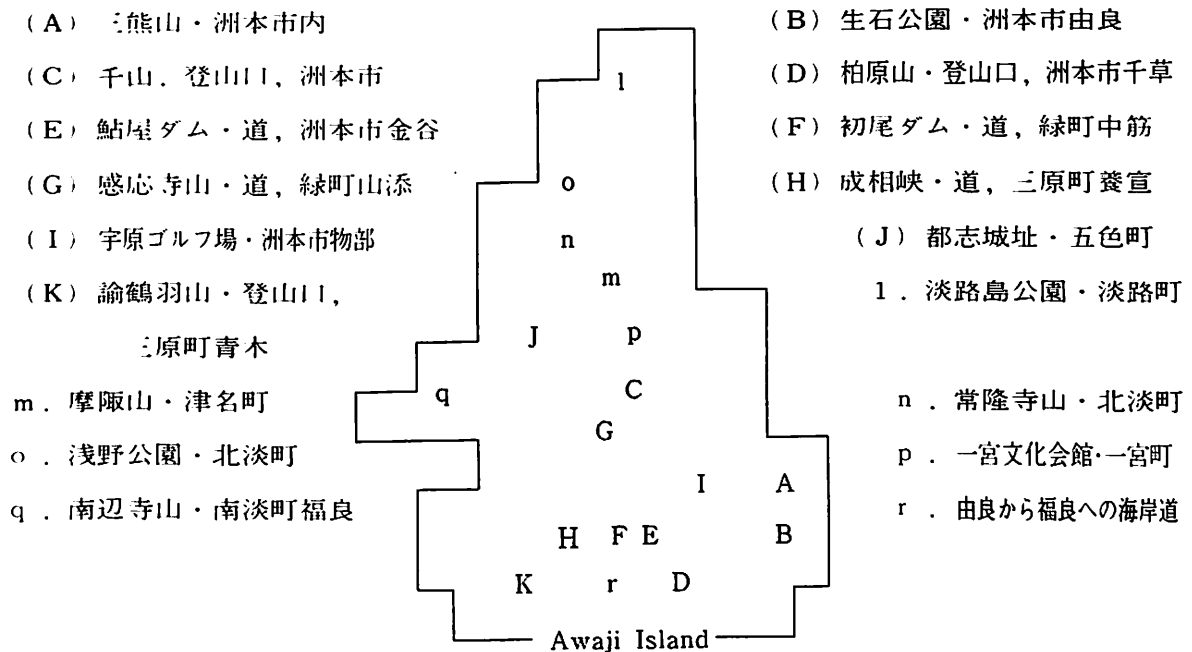
筆者は昨年、東京に転居するまでの数年を淡路島で過ごし、その間1988年の夏から1991年6月までの3年間に淡路島全域にわたり蝶を数多く採集した。

淡路島の野山には、自然樹と山野草が多く南方系の蝶の種類が豊富で、今まで北海道や岩手県に住んでいた私にとっては、当地では普通種の蝶でも珍しく興味深々であった。

ここに記録するものは、採集活動をとうして自分の手で採集し、現在も筆者が標本として保管する蝶のみとし、目撃や他人の採集したものや伝聞は含まない。

今、明石大橋の工事が始まり近代化が急ピッチに進みつつある淡路を思うとき、将来は島の様子も大きく変わり、おそらくは蝶の分布も変わるのではと考えて、ここに当時の蝶の採集状況を記録して残しておきたい。

淡路島の主な採集地



淡路島内の採集地の印象と特徴

(A) 三熊山のスミナガシ

ここにスミナガシが生息することは、先輩諸氏の記録と、多数自生するヤマビワの幼虫による食痕から確信していたが、10数回の探索の後に、ようやく採集することができた。

1991年6月1日晴れ、午後3時頃、山頂近くの測候所付近のウバメガシの林で1匹、西の丸の

入口のウバメガシ林で2匹、いずれもテリトリーを飛び交っているのを採集した。

(B) 生石（おいし）公園のジャコウアゲハ

山頂の展望台の周辺には、沢山のツツジが春早く咲き乱れ、これに飛来するジャコウアゲハ、の数は、一視野に10数匹に及び、わずかの時間で数十匹の採集が可能なほどです。

この蝶は島内の随所で数多く見られますが、局地的にこれほど多いのは珍しいと思う。

(C) 千山（448m）のアゲハ蝶

山頂のやや下には、沢山のヤブガラシの林があり、この花にはアオスジアゲハとクロアゲハが集まり、一つの木の先端には数十匹ものアゲハが蜜を吸い飛び交い、美しいハノラマ風景を描きます。北側の山道のわき水のぬれ場には、ときおり数匹のカラスアゲハが吸水しているのを見かけます。クサギの花には、多くのモンキアゲハが飛来します。

夕暮れ近くには、ジャコウアゲハが道端に多く見られます。

(D) 柏原山（569m）の山頂付近の蝶

山頂の駐車場の付近には、春早く沢山のテングチョウがひなたに飛来します。ここより地蔵分かれの道に向かう林間の道には、多くの種類のアゲハチョウが飛び交い、捕虫網を休める暇がありません。ナカサキアゲハやミヤマカラスアゲハの採集も可能です。この近くの平原や道端では、ツマグロヒョウモンの♀を、一度に数匹見かけることもあります。

(E) 鮎屋（あゆや）のダム周辺

柏原山の北斜面には、柏原ダム・猪鼻ダム・鮎屋ダムなどがあり、この周辺の道端の野花や樹木には多くの蝶が集まり、早春から晩秋まで採集が可能です。その中でも西に位置する鮎屋ダム域は、広葉落葉樹の自然林が多く、蝶の種類が豊富で興味深く、当地では稀少な種も採集しました。

（鮎屋ダムの上流林道）小川に沿った小道の水溜まりには、多くのアオスジアゲハが近くには吸水に集まります。採集した一匹を羽を広げて、地面に置きおとりにすると、数匹がこれに集まりますので簡単に採集できます。ここではアオバセセリ1匹採集しました。

（鮎屋ダムの放水路・池田周辺）

5月に野花に集まる数百匹のキタテハや数十匹のヒメアカタテハを一か所で見えています。夏の夕暮れには、小道にテリトリーをはるルリタテハが多く、一時に数十匹の採集が可能な程です。6月の午前中にミヤマカラスアゲハを2匹採集しました。ツマグロヒョウモンも多く、ミドリヒョウモンも10数匹採集しています。ウラギンシジミも多数生息しています。夏にゴマダラチョウ2匹、メスグロヒョウモン♀数匹それに淡路島では初採集記録のコムラサキ♂がクスギの樹液にいたのを1匹採集しました。モンキアゲハ、クロアゲハは多く、ナカサキアゲハも数匹採集しています。晩秋の夕暮れには、林間の小道にクロコノマチョウが飛び交い、かなりの数を採集しています。この時期にウスイロコノマチョウを数匹同所で採集

しています。特記すべきものとして、9月の晴れた午後に小川に沿ってヒラヒラと飛ぶ、ヤエヤマムラサキ♂1匹を採集していますが、これも島内では初記録です。

(F) 初尾ダムのメスグロヒョウモン

メスグロヒョウモンは島内でも採集しますが、そう多くはなくメスの採集はあまりありません。このダムの裏道には、わりあい多く生息しており、♀数匹を採集しています。

(G) 感応寺山のアサギマダラなど

緑町の八幡宮から登ると、山頂の少し前の林の中に八坂神社があり、その白い花に晩秋には沢山のアサギマダラが飛び交います。一視野に10数匹にも及ぶこともあり、島内でも有数の生息地です。

登山道では、必ずと言っていいほどツマグロヒョウモンと出会います。そこから感応寺へ向かう林道ではナガサキアゲハを採集しています。感応寺の境内は、山頂にありますので昼過ぎには、多くの蝶が飛来するので採集は容易です。中でもキアゲハは多く、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、アサギマダラ、ツマグロヒョウモン、アカタテハが多く集まります。キョウウやウラギンシジミは、島内では普通種ですがこの地が最も多く生息していると思います。ウラギンシジミの秋型の採集が可能です。

(H) 成相（なりあい）峡のカラスアゲハ

この地は論鶴羽山系では最も深い沢で、下流にはホタルの保護地域があり、道もあまり整備されてなく山深い感があり、それだけに自然林が多くカラスアゲハの種類は多く、ミヤマカラスアゲハもおります。雨あがりの午前中には、面白いほどに多くのアゲハ類が、道の水溜まりで吸水するのを見かけます。

(I) 宇原ゴルフ場周辺の蝶道

この地は、市街地に接近した開発途上で放置された蜜柑樹に囲まれており、ゴルフ場の側道には、モンキアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハチョウが多く、まさに蝶道の感があります。両脇が林に囲まれた道にたたずむと、大型の蝶が自分めがけて、次々と突進して来るような感じがするほどです。又、クヌギの木も多く、タテハ蝶類やジャノメ蝶類が樹液に群がるのをよく見かけます。市街地に隣接する珍しい蝶の多数生息地です。

(J) 都志（つし）城址のアゲハ蝶類

五色健康村の裏山のキャンプ場に向かう道端には、沢山のクサギが生い茂り、花の時期には、ものすごい数のモンキアゲハ、クロアゲハ、アゲハチョウが飛来し、それにカラスアゲハ、ナガサキアゲハも多く、島内では局地的なアゲハ蝶類の最多生息地です。

(K) 論鶴羽（ゆずるは）山（608m）の蝶の大群

早春の未だ肌寒い晴れた日に、山頂近くの路上に遠くから見ると土煙が舞うような不思議な光景を見て近づくと、ものすごい数のテングチョウが、地上から空中に乱舞している大群で

した。ざっと数えて千匹近い数でした。その土には、わずかの湿り気がありました。

9月の末の雨上がりの晴れた日の午後に、山頂に近いお宮の林に開かれた林道の樹上には一視野に数十匹に及ぶアサギマダラが飛び交い、おそらくはその数200匹ほどかと思われます。これだけの数が、同時に天空をヒラヒラと美しく舞い飛ぶ光景は、みごとなもので、一生忘れえぬ印象となりました。その後、何度もこの地を訪れましたが、これほどではないにしても似たようなシーンに遭遇しています。頂上付近の林道では、ミヤマカラスアゲハの採集も可能です。

その他の地域

(l 淡路島公園) モンキアゲハや他の島内普通種がありますが、開発が進みつつあり、上述の地よりは生息数は少ないようです。(m 摩阪山と東山寺) モンキアゲハとアサギマダラは普通種です。(n 常隆寺山) アサギマダラ、モンキアゲハ、サトキマダラヒカゲは普通種です。

(o 浅野公園) モンキアゲハ、アゲハチョウは普通種です。

(p 一宮文化会館の裏山) モンキアゲハが多数クサギの花に集まります。ツマグロヒョウモンも多数生息します。(q 南辺寺山) モンキアゲハは普通種です。

(r 由良から福良に至る海岸道路) 山から流れ落ちる清水や海岸の溜まり水には、沢山のオスジアゲハやモンキアゲハが吸水に集まります。

淡路島各地の蝶の生息状況（採集匹数）

生息状況：大多（30匹以上）多数（20以上）普通（11～19）少数（10以下）稀少（5以下）

初：島内では初採集記録 空欄：島内の普通種は採集していないが、ほとんど目撃する。

(科 名) 和 名	三熊 山	生石 公園	先山	柏原 山	鮎屋 ダム	初尾 ダム	感応 寺山	成相 溪	宇原 ゴルフ	都志 城址	諭鶴 羽山
(アゲハチョウ科)											
アオスジアゲハ	普通	普通	普通	普通	多数	少数	普通	多数	少数	稀少	多数
ジャコウアゲハ	大多	大多	普通	少数	少数	少数	稀少	大多	稀少	稀少	普通
アゲハ	普通	普通	少数	少数	普通	少数	普通	少数	大多	普通	普通
キアゲハ	1				稀少		普通	稀少	稀少	稀少	少数
モンキアゲハ	普通	普通	普通	普通	少数	少数	少数	多数	普通	大多	普通
ナガサキアゲハ	稀少	稀少	稀少	稀少	稀少		稀少	稀少	少数	稀少	稀少
クロアゲハ	大多	多数	大多	普通	少数	少数	稀少	普通	普通	普通	少数
カラスアゲハ		稀少	稀少	少数	少数			少数	少数	少数	稀少
ミヤマカラスアゲハ				1	2			1			1
(シロチョウ科)											
ツマキチョウ									4		
モンシロチョウ			普通		普通	普通	普通	普通	大多		普通

(科 名) 和 名	三熊 山	生石 公園	先山	柏原 山	鮎屋 ダム	初尾 ダム	感応 寺山	成相 溪	宇原 ゴルフ	都志 城址	諭鶴 羽山
スジグロシロチョウ			普通	少数	普通	普通	少数	普通	普通		普通
キ チ ョ ウ	普通	普通	多数	普通	大多	大多	大多	大多	多数	普通	多数
モンキチョウ	普通		普通		普通	普通	普通	少数	普通		少数
(タテハチョウ科)											
ル リ タ テ ハ			少数	普通	大多	普通	多数	少数	少数		
キ タ テ ハ		少数	普通	普通	大多	多数	普通	普通	普通		
ア カ タ テ ハ				少数	稀少	少数	少数	稀少	稀少		
ヒメアカタテハ				少数	普通	少数	少数	少数	少数		
ヤエヤマムラサキ					1 初						
ミドリヒョウモン					少数	少数		稀少			
メスグロヒョウモン					少数	少数		稀少			
メスグロヒョウモン ♀					稀少	稀少	1				
ツマグロヒョウモン	多数			普通	多数	多数	普通	少数			
ツマグロヒョウモン ♀	少数			少数	少数	少数	少数	稀少			
ス ミ ナ ガ シ	3										
コ ミ ス ジ	多数	普通	普通	普通	多数	普通	大多	普通	大多		普通
コ ム ラ サ キ					1 初						
ゴマダラチョウ					2	1					
(ジャノメチョウ科)											
クロコノチョウ					少数	稀少					
ウスイロコノマチョウ					稀少						
ジャノメチョウ ♂	稀少		普通				普通				
ジャノメチョウ ♀			稀少				1				
ヒメウラナミジャノメ	大多	多数	大多	普通	普通			1			1
ウラナミジャノメ	稀少										
コ ジ ャ ノ メ	普通	普通	普通	普通	普通						
ナ ミ ヒ カ ゲ	少数	普通	大多								
サトキマダラヒカゲ	普通										
(シジミチョウ科)											
ウラギンシジミ 夏	普通	少数	普通	少数	多数	普通	普通	少数	少数		少数
ウラギンシジミ 秋			稀少	普通			普通				
ベ ニ シ ジ ミ	普通	普通	大多	普通	普通	普通					
ムラサキシジミ				1	2						
トラフシジミ	1										
ヤマトシジミ	大多	大多		大多	普通						
シルビアシジミ	少数	普通		普通	普通						
ツバメシジミ				少数	少数	普通					
ル リ シ ジ ミ		普通			少数	普通					
ウラナミシジミ						普通					
ア カ シ ジ ミ	2										

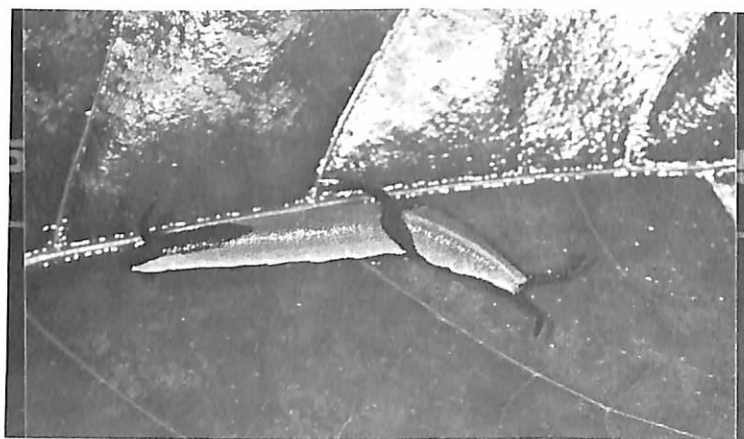
(科名) 和名	三熊 山	生石 公園	先山	柏原 山	鮎屋 ダム	初尾 ダム	感応 寺山	成相 溪	宇原 ゴルフ	都志 城址	諭鶴 羽山
(セセリチョウ科)											
アオバセセリ					1						
ホソバセセリ	少数			普通	普通	普通					
コチャバネセセリ	普通	普通			普通	普通					
キマダラセセリ	普通				少数						
オオチャバネセセリ					少数						
チャバネセセリ	少数				普通						
イチモンジセセリ	少数				少数						
(テングチョウ科)											
テングチョウ				大多	普通	少数	少数	少数	少数		大多
(マダラチョウ科)											
アサギマダラ			普通	普通	少数	普通	大多	少数			大多

分布域を拡大しつつあるイシガケチョウ

1980年代前半頃から淡路島でもイシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* Fruhstorfer の採集・目撃記録が散見されるようになり、南淡町阿万（藤平、1984、本誌30）、洲本市先山、安乎町浜（前川、1984、本誌31）、南淡町灘黒岩（藤宮、1988、本誌34）、洲本市鮎屋（前川、1990、本誌36）、南淡町灘大川（藤平、1990、本誌36）、諭鶴羽山（登日、1990、本誌36）、洲本市三熊山、西淡町飯山（竹田、1991、本誌37）などからこれまで記録されているが、昨年（'91）6月30日に津名町大町畑の自宅近くで本種の終齢幼虫をイヌビワから発見したので記録しておきたい。

その後、周辺の他のイヌビワを調べたところ食痕が認められるもののがかなりあったので、単なる偶産ではなく近年の本種の分布域拡大の一端を裏付けることができた。

（登日邦明）



1991年6月30日に大町で発見された
イシガケチョウの終齢幼虫。

常隆寺山の昆虫採集記録

堀 田 久

筆者は、1991年7月24日、常隆寺山を訪れる機会があり、山頂周辺で昆虫類の採集と観察を行った。ほとんどが普通種で、特に目立ったものはエゾツユムシとアオメアブくらいのものであるが、当日の採集品を記録しておきたい。

トンボ目

1. コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys
2. オニヤンマ *Anotogaster sieboldii* Selys
3. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum* Uhler
4. オオシオカラトンボ *Orthetrum triangulare melania* Selys
5. ウスバキトンボ *Pantala flavescens* Fabricius
6. ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* Selys
7. コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* Burmeister

直 翅 目

1. クラズミウマ *Tachycines asynamorus* Adelung
2. ツユムシ *Phaneroptera falcata* Poda
3. エゾツユムシ *Ducetia sapporensis* Matsumura et shiraki

半 翅 目

1. アブラゼミ *Graptosaltria nigrofuscata* Motschulsky
2. ヒグラシ *Tanna japonensis* Distant
3. ハサミツノカメムシ *Acanthosoma labiduloides* Jakovlev

脈 翅 目

1. ウスバカゲロウ *Hagenomyia micans* MacLachlan

鱗 翅 目

1. アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* Fruhstorfer
2. ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* Klug
3. アゲハチョウ *Papilio xuthus* Linnaeus
4. キアゲハ *Papilio machaon hyppocrates* C. & R. Felder
5. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius* Cramer
6. モンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler
7. ナガサキアゲハ *Papilio memnon thunbergii* Siebold

8. カラスアゲハ *Papilio bianor dehaanii* C. et R. Helder
9. キチョウ *Eurema hecabe mandarina* Iorza
10. スジグロシロチョウ *Pieris melete* Menetries
12. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio* Seitz
12. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia* Menetries
13. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides* Lorza
14. ウラギンシジミ *Curetis acuta paracuta* De Niceville
15. テングチョウ *Libythea celtis celtoides* Fruhstorfer
16. アサギマダラ *Parantica sita nipponica* Moore
17. ルリタテハ *kaniska canace no-japonicum* Von Siebold
18. コミスジ *Neptis acenis intermedia* W. B. Pryer
19. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius* Linnaeus
20. ミドリヒョウモン *Argynnis paphia geisha* Hemming
21. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* Menetries
22. ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler
23. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia* Fruhstorfer
24. コジャノメ *Mycalesis rancisca perdiccas* Hewitson
25. コチャバネセセリ *Thoressa varia* Murray
26. ダイミョウセセリ *Daimio tethys* Menetries

甲 虫 目

1. ヤコンオサムシ *Carabus yaconinus* Bates
2. クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis* Motschulsky
3. ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* Motschulsky
4. コクワガタ *Macrodercas rectus* Motschulsky
5. ハンミョウ *Cicindela japonica* athunberg
6. クスベニカミキリ *Pyrestes haematicus* Pascoe

ハ チ 目

1. ジガバチ *Ammophila subulosa infesta* Smith
2. スズバチ *Eumenes decorata* Smith
3. スズメバチ *Vespa mandarina latilineata* Acameron
4. クマバチ *Xylocopa appendiculata circumvolans* Smith
5. ニホンミツバチ *Apis cerana* Fabricius

ハ エ 目

1. ウシアブ *Tabanus trigonus* Coquillett
2. アカウシアブ *Tabanus chrsurus* Loew
3. アオメアブ *Cophinopoda chinensis* Fabricius

*上記のうち、エゾツユムシは淡路島未記録であったが、当日、山頂下の野外キャンプ場で、雌を1頭採集した。また、同所で採集例の少ない、アオメアブを1頭採集した。なお、これらの標本は筆者が保管している。

ベニゴマダラヒトリの採集記録

ベニゴマダラヒトリ *Utetheisa pulchelloides* Hampson (ヒトリガ科) は、インドーオーストラリア地区からマダガスカルに分布する種で、我国でも関東以西の各地でこれまで時々採集されている。

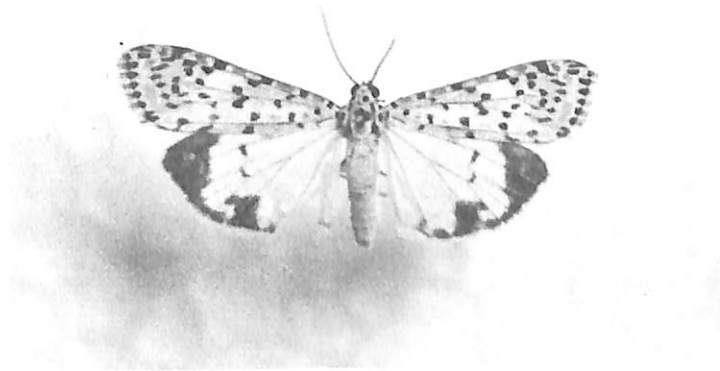
淡路島からはこれまで知られていなかったが、昨年('91)8月に三原町八木にある南淡路農業技術センター内のライト・トラップに入った個体が同センターの藤富正昭氏によって筆者の元に届けられ、また南淡町阿万の藤平 明氏からも同氏が採集された個体の写真とデータの提供をいただいたので、併せて記録しておきたい。

Yagi, Mihara, 1♀, 23, VIII, 1991 (M. Fujitomi leg.)

Ama, Nandan, 1♀, 25, VI. 1991 (T. Fujihira leg.)

末筆ながら貴重な標本やデータを提供いただいた両氏に厚くお礼申し上げる。

(登日邦明)



南淡町阿万産 ベニゴマダラヒトリ

ナミアゲハの無尾型

本年（'92）9月12日の午後、津名町大町畑の自宅近くで草の上に静止していたナミアゲハ *Papilio xuthus* L. の無尾型を採集したので記録しておきたい。

本個体は羽化後間もない新鮮な個体で、写真のように夏型としては明らかに小型で開張は約70mm、特に後翅の発達が不十分で一種の奇型と思われる。尾状突起は切れたものではなく、縁毛も完全に残っている。

写真では後翅の左右の形が異なるように見えるが、これは右の翅端を内側に巻き込んだ状態で展翅したためで、巻き込んでいなければ左右対称である。

（登日邦明）



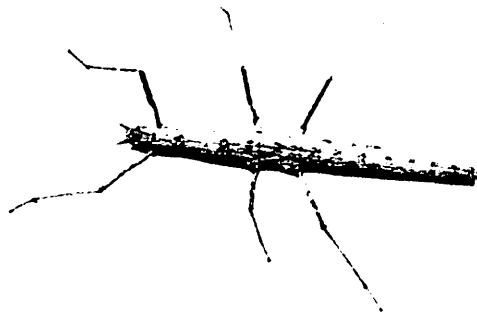
津名町大町で採集した無尾型のナミアゲハ。

トゲナナフシの採集記録

トゲナナフシ *Neohirasea japonica* Haan は、淡路島では、津名町大町で採集されているだけであったが、筆者は、下記のように本種を採集したので報告しておく。

洲本市安乎町北谷 1♀ 27.XI.1991

（堀田 久）



安乎町で採集したトゲナナフシ

コムラサキの目撃記録

コムラサキ *Aparatura metis subtiuta* Butler は、淡路島では、洲本市宇原での採集記録があるだけであるが、筆者は、本年（1992年）6月11日に、洲本市安乎町北谷で、本種の新鮮な雌を1頭目撃した。この個体は、正午ごろ、筆者宅の庭に飛来したもので、近くで確認したが、捕虫網を持っていなかったなので、採集することが出来なかった。

（堀田 久）

ハネビロエゾトンボの採集記録

少し古い記録ですが、ハネビロエゾトンボの採集例は少ないようなので、ここに2例報告しておきます。なお標本は筆者が保管しています。

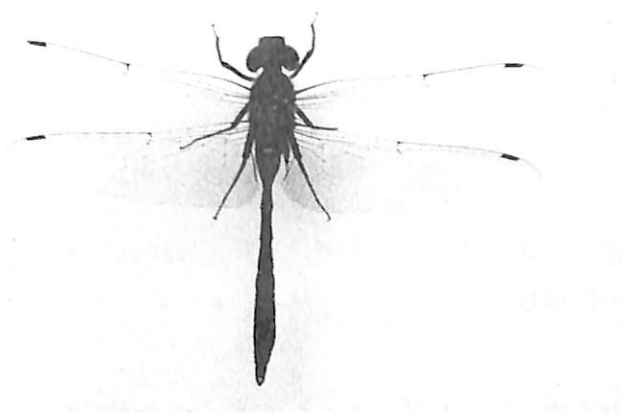
採集日 1990年7月14日 1♂

採集地 洲本市三熊山

採集日 1990年9月15日 1♀

採集地 西淡町志知飯山

（竹田俊道）



西淡町産のハネビロエゾトンボの♀

編 集 後 記

▽ 本年度も予定より遅くなりましたが、38号をお届けします。菊池さんには、3年間にわたる淡路島内での採集のまとめをいただき、ありがとうございました。

▽ 原稿が集まり次第、39号を発行しますので、ぜひ原稿をお寄せ下さい。

PARNASSIUS No. 38

1992年11月25日印刷 1992年11月30日発行
編集者 堀田 久 発行所 淡路昆虫研究会
〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑235 登田 万
郵便振替 神戸 7-49591

印刷所 れいめい社
〒656 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

